

船舶インシデント調査報告書

令和2年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和元年9月16日 13時30分ごろ
発生場所	熊本県天草市御所浦島西方沖 元ノ尻灯台から真方位012° 720m付近 （概位 北緯32° 18.7′ 東経130° 18.2′）
インシデントの概要	プレジャーボートSEAMASTERは、航行中、主機の運転ができなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和元年10月17日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート SEAMASTER、2.5トン 290-41953熊本、株式会社石本塗装 ディーゼル機関（船内外機）、4サイクル、出力169.17kW、 回転数毎分3,600、6気筒、ボア94mm、使用燃料軽油
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m
インシデントの経過等	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者5人を乗せて航行中、機関室から異音がするとともに、速力が低下して船内外機が停止し、主機の始動を試みたが始動できなかった。</p> <p>本船は、船長が、運航不能と判断し、投錨して118番通報を行い、来援した巡視艇により近くの港にえい航された。</p> <p>本船は、本インシデント後、機関整備業者が船内外機の点検を行った結果、主機の動力をアウトドライブに伝達する同ドライブ内部のユニバーサルジョイント（自在継手）及びベアリングが破損しているのが認められた。</p> <p>機関整備業者によれば、本船は、本インシデントの約2か月前、ユニバーサルジョイントのゴム製カバーの亀裂部から海水が内部に浸入して潤滑剤に混入したことがあり、同カバーは交換されたものの、ユニバーサルジョイント及びベアリングが引き続き使用されていた。</p>
分析	<p>本船は、航行中、アウトドライブ内部のユニバーサルジョイント及びベアリングが破損したことから、主機の運転ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>ユニバーサルジョイント等は、本インシデントの約2か月前、海水</p>

	<p>がユニバーサルジョイントのゴム製カバーの亀裂部より浸入して潤滑剤に混入した際、引き続き使用されたことから、潤滑剤に混入した海水によって腐食が進み、破損したものと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が航行中、海水が潤滑剤に混入した際、アウトドライブ内部のユニバーサルジョイント及びベアリングが、引き続き使用されていたところ、破損したため、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトドライブ内部のユニバーサルジョイントのゴム製カバーに亀裂が生じて海水が浸入した際は、同カバーだけではなく、ユニバーサルジョイント及びベアリングも交換すること。